

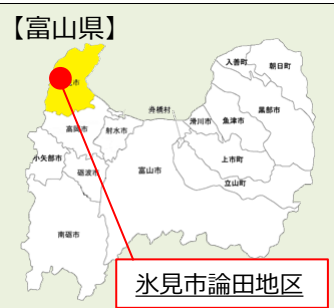
地域の共同活動により荒廃農地を解消するとともに 担い手不足の課題解決に向けて農業と文化の継承に取り組む

ひみし
〔富山県氷見市〕

新規就農	企業参入	6次産業化	農地中間管理機構
粗放的利用・スマート農業	鳥獣害対策	地域・集落の共同活動	その他

1. 地域農業の状況

- 論田集落は、市の西部、石川県境に位置しており、人口約300人が暮らしている。
当集落の農用地は急傾斜地が多く、さらに広大かつ点在しているため、農業者には厳しい環境であり、人口減少、高齢化に伴う担い手不足により荒廃農地が発生していた。



- 集落として農用地全体を守っていく必要があると考え、平成12年度から中山間地域等直接支払制度を活用し、水路・農道の整備や農地の維持管理に取り組んできた。
- 中山間地域等直接支払制度の第5期対策当初、解消すべき荒廃農地を選定・計画し、5年間かけて荒廃農地の解消を実施。

- 協定農用地面積の変遷

R 2	3, 192 a
↓	
R 3	3, 205 a
↓	
R 6	3, 219 a

- 集落住民が中心となり活動する食品加工グループ「食彩ふるさと」では地域の名産品である草餅を製造しているが、その材料であるもち米やよもぎを協定農用地で栽培している。



よもぎの栽培

2. 地区概要

取組主体	論田集落協定	地区名	ろんでん 論田地区
再生面積	0.3ha	取組年次	平成12年度～
作付作物	水稻、ハトムギ、よもぎ	販路	「食彩ふるさと」等に出荷

3. 取組内容及び効果

中山間直接支払制度を活用し荒廃農地を解消、農業と文化の継承や地域振興活動に取り組む

- 共同活動での草刈の実施や、棚田地域振興活動加算を活用した自走式草刈り機の導入による農作業の省力化を図ることで、令和2年度からの計画的な荒廃農地の解消を実施。
- 人口減少・高齢化に伴う担い手不足により、今後も引き続き荒廃農地の発生をいかに防止していくかが大きな課題であったが、その課題解決に向けた活動の一つとして、隣接する集落と共同で、一体的な農業と文化の継承や地域振興活動に取り組んでいる。
- 令和5年度からは、農業と文化の継承を見据えた交流人口の増加と移住者の受け入れによる後継者育成を目指し、都市部の大学生らを対象とした農業インターンシップを実施している。
大学生は6日間地域に滞在し、稲刈り・はさがけ、ネクタリンやいちじくなどの収穫、農機具を使用した草刈りなどの農作業体験に加え、地区の方言紹介や名産品「草餅」の調理を体験し、集落文化に触れる機会となった。



共同での維持管理



農業インターンシップ
自走式草刈り機体験



農業インターンシップ
稲刈り・はさがけ体験

活用した支援策	H12～ 中山間地域等直接支払交付金（国）
---------	-----------------------